



# 山田養蜂場 みつばち研究助成基金

Yamada Bee Farm Grant for Honeybee Research

## 2009年度 みつばち研究助成基金 緊急募集 募集要項

株式会社山田養蜂場

山田養蜂場 みつばち研究助成基金<sup>※1</sup>は、本要項に準じ、「CCD の原因解明および対策方法の検証」を計画および実施できる研究者を緊急公募します。

### 1. 目的

2006年、米国においてセイヨウミツバチが大量失踪する現象 CCD<sup>※2</sup> (Colony Collapse Disorder 蜂群崩壊症候群) が爆発的に発生し、養蜂家だけでなく、ミツバチをポリネーター (花粉媒介者) として利用する農家にも影響する事態にまで発展しました。この現象は、米国だけに留まらず世界各地で続けざまに発生。昨今、ついに日本においても、ミツバチの大量死が発生しました。

CCD の原因については、世界の研究者が究明に挑み、ダニ、農薬、ウィルス、栄養不足、ストレスなど諸説挙げられています。現在のところ、特定までは至っていませんが、一つの事象が要因ではなく、これらの原因が複雑に関連した要因に拠るとの見解が最も主流となっています。しかしながら、養蜂現場における有効な改善・対策方法は見つかっておらず、養蜂家、ひいてはミツバチをポリネーターとして利用する農家にも危機的な状況にあります。

したがって、実際の養蜂の現場にて要因の検証を行うことは急務であり、また、今後、CCD を発生させないために、養蜂業者、農業関係者、研究者間にて連携して対策を講じ、その有効性を実証することが、今後の世界を支える農業において必須です。

ゆえに、本助成基金において、このテーマを計画・実施できる研究者を緊急に募集いたします。

### 2. 応募資格

代表研究者は、大学および研究所に所属する研究者（日本語もしくは英語でのコミュニケーションが可能な方であれば国籍は問いません）。

### 3. 公募研究テーマ

「CCD の原因解明および対策方法の検証」

### 4. 採用件数

若干名。

### 5. 助成金額

300万円程度。

応募時に必要研究費をお見積り頂き、ご提示ください。審査委員会にて検討し決定します。

## 6. 審査基準

- ① 研究室だけでなく、養蜂現場において実証する研究を優先します。
- ② 養蜂関係者および農業関係者の両者と協力して実施される研究を優先します。
- ③ 本要項に準じていない応募者は、いかなる場合においても審査対象には含まれません。
- ④ 予備試験が実施済みならびに評価方法が確立されている研究を優先します。
- ⑤ 過去に本助成を受けたことがある応募者で、誓約書に記載の事項を遵守されなかった方は、いかなる場合においても審査対象には含まれません。

## 7. 研究期間

2年間（2009年10月～2011年9月）

## 8. 応募方法

みつばち健康科学研究所ホームページの研究最新ニュース（Latest News）より専用ページにアクセスし、応募フォームをダウンロードしてください。必要事項をご記入の上、必ず下記連絡先までメールにて応募ください。メールの件名は下記にてお願いします。また、頂いた応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。

- ◆ みつばち健康科学研究所ホームページ：<http://www.bee-lab.jp/>
- ◆ 応募先：[bee-lab@yamada-bee.com](mailto:bee-lab@yamada-bee.com)
- ◆ 応募時の件名：2009年度 緊急募集への応募

## 9. 申込受付期間

2009年7月29日～8月20日（木） 日本時間 17:00 締め切り

受付期間外に応募いただいた場合には、審査対象には含まれません。

## 10. 選考および決定

本助成基金の審査委員会にて審査・決定します。審査後、応募者にはメールにて採否を通知し、また、採用結果はみつばち健康科学研究所ホームページ等で公開します。なお、審査基準に基づき、厳正に審査いたしますので、採否の理由に関するご照会には回答いたしかねますことを予めご了承ください。

## 11. 個人情報の取扱いに関する事項

### (1) 個人情報の利用範囲

当社がこの助成に関連して取得する個人情報は、応募受付から、選考、採否決定通知、助成金贈呈など助成選考に関する一連の業務に必要な範囲に限定して利用します。また、一連の業務に必要な範囲において、業務に携わる協力会社に個人情報を提供する場合がございます。個人情報保護に関するお問合せは連絡先（文末）へお問合せ下さい。

### (2) 個人情報の公開範囲

当社は本件助成が決定した場合、代表研究者ならびに共同研究者に関する情報（名前、所属団体等）を一般公開します。

### (3) 個人情報の開示・訂正・利用停止等

取得した個人情報につき、開示・訂正・利用停止等の請求を受けた場合には、当社は、本人確認を行った上で速やかに対応します。

## 12. その他注意事項

### (1) 誓約書の提出

助成が決定した方には、本助成研究に関する誓約書を提出頂きます。誓約書の内容については、みつばち健康科学研究所ホームページを参照ください。

### (2) 報告書の提出

助成研究1年経過時（2010年10月頃）に中間報告書（収支報告一覧を含む）、ならびに助成研究終了後（2011年10月頃）に、最終報告書（収支報告一覧を含む）を提出頂きます。また別途、当社より報告書の提出を依頼する場合があります。その場合の提出期限は依頼した日より30日以内とします。

### (3) 助成の中止、助成金の返還請求

報告書を予定期日までに提出しない、研究内容が応募時と著しく異なる、助成研究期間前に発表された成果を報告した、募集要項ならびに誓約書に記載の事項を遵守しないなど、助成の目的に沿わない行為が認められた際は、助成を中止し、助成金の一部もしくは全額を返還して頂く場合があります。

### (4) 研究成果の発表

申請者が助成研究の内容や成果を、学会、論文、その他出版社または報道機関からの取材等により発表する場合は、内容、時期、発表の方法などを、事前に山田養蜂場本社に連絡するものとする。なお、その連絡の時期は、学会は発表要旨提出の30日前まで、論文は投稿前とする。また、発表の際には「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」を受けている旨を必ず表現するものとし、論文やその他出版物の場合には、謝辞を以下のように付記するものとする。

和文：「本研究(または、本研究の一部)は山田養蜂場 みつばち研究助成基金の援助を受けて実施した」

英文：「The research (Part of the research) had been implemented by having a grant provided by Yamada Bee Farm Grant for Honeybee Research.」

なお、株式会社山田養蜂場は、採用研究者と相談の上、研究成果を学会、論文およびその他の方法（弊社主催のセミナーなど）によって発表することができます。

※1 山田養蜂場 みつばち研究助成基金・・・株式会社山田養蜂場が創業当時の「一人の人の健康のために」との理念に基づき2008年に設立した基金。予防医学的健康観に基づく研究から、ミツバチ基礎科学まで若手研究者による先進的な研究を支援している。

※2 CCD・・・Colony Collapse Disorder（蜂群崩壊症候群）の略。コロニーの50～90%のミツバチが短期間のうちに激減し、その成虫の死骸が巣内や巣の近辺には見られないという現象。

以上

#### 連絡先

\*\*\*\*\*  
株式会社山田養蜂場 みつばち健康科学研究所 みつばち情報センター  
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194  
TEL / FAX : 0868-54-1199 / 3346 (研究開発部、月～金9:00～17:30、土日祝除く)  
Mail : [bee-lab@yamada-bee.com](mailto:bee-lab@yamada-bee.com)  
みつばち健康科学研究所ホームページ : <http://www.bee-lab.jp/>  
\*\*\*\*\*